

効率的な人

清水さん

内容

効率的な人.....	1
中学生にオススメな家庭学習のやり方！成績が上がりやすい勉強方法.....	4
中学生のタブレット学習とは？通信講座の選び方成績が上がりやすい勉強方法.....	5
中学生の効果的な勉強方法ってある？時間を有効活用する方法とは？成績が上がりやすい勉強方法.....	7
著者：清水さん.....	10

『筆者：清水』は段ボール通販の[アースダンボール](#)を応援しています。

中学生にオススメな家庭学習のやり方！成績が上がりやすい勉強方法

中学生になると学習内容が、かなり難しくなっていきます

。そうなる間違った家庭学習のやり方では、どんなに時間をかけても身に付くことはありません。

本記事では、中学生にお勧めな家庭学習のやり方や、時間を有効に使う方法についてお伝えをしていきます。

中学生にオススメの家庭学習のやり方時間をかければ身に付くわけではない理由勉強時間を増やすためにはどうすれば良い？

中学生にオススメの家庭学習のやり方中学生で重要な教科といえば、国語・社会・数学・理科・英語です。ただ、暗記をするだけで成績が上がる科目と、基礎を重視していくことで成績が上がる科目があります。暗記をするだけで成績が上がる科目は、国語・社会・理科です。暗記重視型の強化の場合は、何度も繰り返して勉強をして暗記をするだけで、テストは良い点数が取れるようになります。

べつに、学年を落とした学習をしなくても、今現在勉強しているレベルでも問題ありません。なぜなら、暗記をするだけで、テストでも良い点数が取れてしまうからです。しかし、基礎的なことが重視の科目で、数学・英語の場合は基礎ができていないと難しい場合が多いです。現在学習している内容が理解できていない場合は、学年を落として学習をするしかありません。

中学生の勉強の場合は、教科書ベースで考えることが大切です。教科書ベースで有効な学習方法として、音読が効果的です。国語などや英語など、音読をすることで暗記しやすくなります。英語の場合は身近な言語ではないので、音読をするほうが英文に慣れやすくなるし、リズムなども理解できるようになるでしょう。

国語の場合は日本語ではありますが、古文などは現代文よりも多く読書をして音読すると良いかもしれません。時間をかければ身に付くわけではない理由時間をかけて勉強をすれば、記憶に定着すると思われがちですが、それは大きな間違いです。中学生の最適な学習時間は、学年や成績、志望校のレベルによっても違いがあります。

また、成績についても現在の成績をキープしたいのか、それとも成績アップをしたいのかによっても、必要になる勉強時間に違いが出てきます。成績に応じた勉強時間については、どんなに悪い成績であっても1日2時間が望ましいところです。平均学習時間は30分ですが、この時間は平均であり目安でもあります。

約40%の精とは毎日、2時間ほど勉強をしているとベネッセの調査報告でもわかっているのです。成績アップを狙うのであれば、最低でも2時間くらいは勉強をしたほうが良いということになります。勉強時間を増やすためにはどうすれば良い？勉強時間を増やすためには、遊ぶ時間を削るとか動画を見る時間を削るなど考えられます。

しかし、一番重要なのは、生活リズムを意識して勉強時間を増やすほうが良いでしょう。自

分が朝に集中できるタイプなのか、それとも夜に集中できるタイプなのかを意識して、勉強する時間をかが得る必要があります。

たとえば、朝方の場合は1時間早く起きて勉強をし、夜型の場合は夜に1時間追加して勉強をしてから寝るという風にするとうまいでしょう。ただ、夜型の場合は次の日に影響が出る可能性もあるので、余り夜遅くまで勉強はしないようにしましょう。別にやらないくても良いことに時間を使わないで、その時間を勉強にあてれば簡単に勉強時間を増やすことができます。たとえば、読み終わった漫画を読むとか、いつでも見れるアニメを見るとかをやめて、その時間を学習時間にかえるのです。

そうすれば、勉強時間を増やすことができるでしょう。とはいえ、一気に勉強時間を増やすと、勉強が嫌いになってしまうかもしれません。なので、勉強時間を増やす場合は、徐々に増やすようにしたほうが良いでしょう。勉強に集中ができない場合は、思い切って集中できない原因を部屋から追い出すという方法もあります。

たとえば、漫画が本棚にズラリと並んでいたなら、漫画本をすべて、他の部屋に移動させ本棚には教科書などの類を置いておくのです。さらに、テレビがあるならテレビも、他の部屋に移動させるという風にすれば、勉強に集中できるでしょう。

勉強時間を増やすのがむづかしい場合は、勉強をする日を決めるという方法もあります。たとえば、日曜日は勉強をする日決めるとか、方法はいくらでもありますね。

まとめ

中学生にオススメな家庭学習のやり方については、勉強時間を増やすということです。生活リズムをあまり変えずに、勉強をする時間だけを増やしていきます。生活をする中で、無駄な時間というものがあるかもしれません。その無駄な時間を、勉強時間にあてれば勉強時間を増やすことができるでしょう。ただ、勉強時間を増やすのがむづかしい場合は、勉強をする日を設ければ良いですね。頑張っても成績が上がらないという場合は、以下のページで対処法を紹介しているので参考にしてみてくださいね。

中学生のタブレット学習とは？通信講座の選び方成績が上がりやすい勉強方法

中学生くらいになるとタブレットは、持っている可能性が高くなるのではないのでしょうか。持っていなくてもタブレット学習が可能な、通信講座では貸し出しができる場合があります。タブレット学習については、色々と言われていますが、本記事ではメリットやデメリットなどをお伝えしていきましょう。

タブレット学習とは？タブレット学習のメリットタブレット学習のデメリット通信講座の選び方

タブレット学習とは？タブレット学習というのは、簡単に言うとタブレットを使用して行う学習のことです。人によってはタブレットを使用して学習するのは、あまり良くないと

思うかもしれません。

しかし、学習をしている本人からすれば、勉強をしている感じがしないので、スーッと記憶に定着する可能性も高くなるのです。タブレットが無いからタブレット学習ができないわけではなく、通信講座によっては貸し出しもしているところもあります。次は、メリットやデメリットにも、触れていくことにしましょう。タブレット学習のメリットタブレット学習のメリットは、余り無いような意見もあります。しかし、タブレット学習には、色々なメリットがあるのです。どういうメリットがあるのかを、お伝えしていきましょう。

- ・学習ペースを保護者も把握できる
- ・通塾するよりも低価格
- ・子どものペースに合わせて学習をすすめられる
- ・自動で採点される
- ・動画による詳しい解説
- ・子ども一人ひとりに合った学習ができる

タブレット学習の通信講座の場合は、学習の進捗状況を保護者も把握することができます。学習の進み具合をデータとしてまとめられるので、保護者向けの専用アプリで確認ができるのです。ほかにも、子供がどのくらい進められているかも、確認ができます。塾に通うよりも、タブレット学習の通信講座のほうが、金額的に安い場合があります。

塾に通わせたいけど値段の問題で、通わせられていないなら、タブレット学習を検討してみたいかでしょうか。また、タブレット学習は子供のペースに合わせて学習ができるので、確実に成績アップの下積みができます。

通信講座によっては、どこが苦手なのかを分析して、苦手な部分の基礎を学習することができるのです。タブレット学習で問題を解いていくと、自動で採点されます。そして、動画でも詳しい解説がされるので、理解を深めやすいかもしれません。

タブレット学習のデメリットタブレット学習にはメリットがありますが、デメリットもあります。

どんなデメリットがあるのかについては、以下の通りです。

- ・集中力が持続しづらい
- ・視力や姿勢が悪くなりやすい
- ・自由な学習スタイルである分習慣づけることが難しい
- ・タブレットで学習以外に使う可能性がある
- ・wi-fi環境が必須のものがある

タブレットを使用するということは、色々な誘惑も付いてくるということになります。たとえば、動画を視聴したり、違う調べ物をしたりするケースも考えられます。また、視力や姿勢も悪くなる可能性も、考えられるでしょう。

とはいえ、タブレットを置くスタンドが販売されているので、タブレットスタンドを買い換えると姿勢に関しては、改善される可能性もあります。

自由な学習スタイルなので、習慣づけることが意外に難しいという側面もあります。習慣づけるためには、最初は親がそばで見守るということも大切かもしれません。タブレットを学習以外に、使う可能性もあります。たとえば、ゲームのアプリをダウンロードして、ゲームをプレイするという事も考えられます。

通信講座によっては Wi-Fi が、必要になることもあります。自宅に Wi-Fi がつながっていないと、サービスが利用できないので Wi-Fi をつなぐために、費用が別に必要になるかもしれません。通信講座によっては、Wi-Fi 不要の場合もあるので、各通信講座で問い合わせると良いでしょう。

通信講座の選び方タブレット学習ができる通信講座の選び方としては、それぞれの特徴を知ることから始めるほうが良いでしょう。それぞれの通信講座の特徴と違いについて理解したら、子供に合う学習スタイルが可能な通信講座を選ぶと良いでしょう。タブレット学習の良いところは、勉強を勉強と感じられにくいということにあります。

さらに、通信講座によっては、つまづきポイントを分析して苦手なポイントの基礎から、学習をすることができるのです。タブレット学習のサービスに迷ったら、子供の学習意欲の度合いによって考えるのも良いでしょう。

まとめ

タブレット学習を利用する場合は、子供のやる気が維持できるように、サポートをする必要があります。タブレット学習をするなら、集中して取り組みやすい環境を作るのも必要かもしれません。子供の成績アップのために、どんな方法が良いのかをいろいろと試すのも悪くないでしょう。色々と試す中で、タブレット学習の通信講座も、検討してみたいか？

中学生の効果的な勉強方法ってある？時間を有効活用する方法とは？成績が上がりやすい勉強方法

毎日勉強をしているのに、成績が上がらない中学生は少なくはありません。

思うように成績が上がらない原因は、勉強の効率が悪いからだと言えます。現在行っている勉強方法を見直して、効率の良い方法を身につければ成績はグングンとアップしていくでしょう。本記事は、中学生の効果的な勉強方法を、お伝えしていきます。

効率の良い勉強方法ってどんなこと？

授業の時間をフルに活用する短時間の反復学習徹底的に基礎を学習する集中出来る環境を作ろう！効率の良い勉強方法ってどんなこと？

効率の良い勉強方法とは、考えもなしにやみくもに勉強をすることです。

筆者も学生のころはやみくもに勉強をしていましたが、成績は全く上がりませんでした。つまり、勉強時間をいくら費やしたとしても、効率が悪ければ成績アップにつながらないということです。

じゃあ、効率の良い勉強方法とは、一体どういうものなのでしょう。筆者の経験をもとに、お話していきましょう。授業の時間をフルに活用する筆者が学生のころに、毎日テレビゲームをして遊んでいる子がいましたが、成績はかなり優秀でした。

筆者が昔に、当時の同級生に聞いたのですが、学校の授業時間をフル活用すれば、勉強時間を作らなくても良いということでした。つまり、授業に取り組み方によって、勉強の効率はかなり違うようです。漠然と授業を受けている人は、授業内容を吸収して記憶に定着させることは非常に難しい。

ですが、授業を主体的にしている場合は、たくさんのことを吸収できます。わからないところは、何らかの印をつけて授業中にでも質問をするという感じで理解を深めようとするれば良いのです。また、先生が黒板に書いていることを、そのままノートに書き写しても良いでしょう。さらにいえば、先生の授業で話をしていることを、ノートにメモしていくのも良いかもしれません。

だからと言って、黒板に書いていることを書き写すだけではダメで、習ったことを授業内に覚えて理解をすることに集中することが大事なのです。ノートも、ただ書き写すだけではいけません。授業中に先生が話をしていることが重要であり、黒板に書いているのは話の補助的な事だけです。なので、黒板を書き写すだけではなく、先生の話をもノートにメモしていくことが大切だと言えますね。

短時間の反復学習教科書やノートを広げて机に向かうことが、効率の良い勉強方法ではありません。集中もしないでダラダラと参考書を見ているだけでは、効率が悪すぎるどころか、成績アップも程遠いです。同じ勉強をするなら集中力を高めて取り組むほうが、比較的効率が良い勉強方法だと言えます。

ほんの数分の隙間時間でも語句を暗記していくというふうに、罪笠名得ていくことで知識が身に付いていきます。

机に向かって勉強をするだけではなく、隙間時間も活用すれば勉強の効率はさらに良くなっていくでしょう。徹底的に基礎を学習する現在勉強をしている箇所が分からない場合は、基礎学習をするほうが効率が良いです。

たまに、2学年ほど前の教科書を勉強するのが恥ずかしいという人がいますが、それは大きな間違いといえます。なぜなら、基礎中の基礎を学んでから、徐々に応用をしていくことで出来るようになるからです。効率の悪い学習方法とは、分からないのに漠然と勉強をしていることだと言えます。

しかし、効率の良い勉強方法は現在学習しているところが分からない場合は、基礎に戻って学習をするということです。基礎ができていないのに、応用を勉強しようというのは、無謀の何物でもありません。たとえば、中学1年生の勉強についていけない場合は、小学6年生

まで遡って、勉強をするほうが良いのです。

学年を落とした勉強法は、決して恥ずかしいことではありません。現在習っているところが分からないなら、学年を落として復習をしていくことが大切です。集中出来る環境を作ろう！集中力を高めるには、気が散らない学習環境を作ることが大切です。

気が散るような環境の場合は、なかなか集中できません。テレビやゲームなど見える範囲があると、どうしても気が散ってしまうのです。勉強の妨げになる場合は、勉強の妨げにならないように、視界から遠ざけるのが一番だと言えます。他にも、部屋や机の上が散らかっている場合や、照明が暗い場合は勉強に集中できないことも多いです。さらに、参考書もすぐに出せるように、整理整頓をしましょう。明るく目に優しい照明などを取り入れると、勉強がはかどりますよ。勉強ができるというイメージは、徹夜まで頑張っている感じではないでしょうか。

実は、逆に勉強ができる人ほど、早めに寝ていることが多いのです。寝不足や疲れている状態は、本来の力を発揮することができません。しかし、良く寝ている状態なら、本来の力を発揮しやすくなりますし、頭もスッキリしているので勉強もはかどるのです。徹夜での勉強は、眠たくなっている状態なので、勉強もはかどらない場合が多いと言えます。

学力向上のために睡眠は、7時間から8時間ほどが効果的と言われています。なので、睡眠は8時間くらいは、したほうが良いと言えるでしょう。まとめ中学生は3年間しかないので、有効に使わないとあっという間に、受験勉強の時期がやってきます。

中学生になった時点で、効率の良い勉強方法を身につける必要があるでしょう。自分がどの教科が苦手で、何が得意なのかを把握することでも、成績アップにつながりやすいです。

たとえば、苦手な教科を克服するように頑張れば、成績もアップしていくでしょう。

また、徹夜で勉強をすると最高のパフォーマンスで、授業を受けることができなくなります。なので、睡眠はしっかりととって、体調が万全な状態にしておくことが大切です。

不安やストレスを抱えていると、勉強の効率は上がりにくいです。ベストコンディションで勉強を進めることができるように、常に健康面にも配慮するようにしましょう。

著者：清水さん

好き嫌いの激しい性格ですが、実は温厚。仕事柄いろんな人と関わることがあるので人間観察が一番の趣味。将来の夢は田舎でスローライフを送ること！！